

『第8期中央区自立支援協議会』

障害者(児)サービス部会

報告書

令和8（2026）年1月

委員名簿

役 職	氏 名	所 属 団 体
部会長	田村 克彦	レインボーハウス明石 施設長
副部会長	水田 博子	ポケット中央
委員	前場 京子	中央区心身障害児・者の進路と生活を考える会 会長
委員	濱中 悦子 (R7. 12. 1～)	中央区民生・児童委員協議会 月島地域障がい福祉部会長
	薩埵 稔 (～R7. 11. 30)	中央区民生・児童委員協議会 月島地域障がい福祉部副会長
委員	濱川 浩子	区民公募
委員	渡 裕子	区民公募
委員	鈴木 崇弘	中央区立福祉センター 基幹相談支援センター
委員	鵜沢 風子 (R7. 4. 1～)	中央区障害者就労支援センター
	杉村 美矢子 (R6. 11. 14～)	
	鈴木 茂樹 (R6. 4. 1～)	
委員	山口 義法 (R7. 4. 1～)	区職員 (福祉センター支援係長)
	佐藤 勝 (～R7. 3. 31)	

計9名

## I 部会のテーマ・検討内容

第8期障害者(児)サービス部会では、「障害のある方の地域での生活を支援するためのサービス及び支援体制について」を本部会のテーマとし、第7期に引き続き、障害のある方の身近な困りごとを具体的事例等を通じて共有を図り、地域で生活を続けていくためのサービス・支援の充実に向けての協議、検討を行った。

また、関係各課、関連する機関にも協力を仰ぎ、部会へ参加してもらおう機会を設け、検討課題の解決に向けての議論を深めていくこととした。

## II 開催日時・議題

第4回	令和7年6月16日 (火) 15時00分 ～17時00分	福祉センター3階 第2会議室	(1) 中央区障害者計画・第8期中央区障害福祉計画・第4期中央区障害児福祉計画策定に向けた実態調査について障害者(児)実態調査について (2) 令和7年度障害者福祉課主要事業について (3) 障害者(児)サービス部会報告書について (4) 中央区相談支援事業所連絡会研修会報告 (5) 精神障害分野の事例報告
第5回	令和7年11月17日 (月) 15時00分 ～17時00分	福祉センター3階 第2会議室	(1) 中央区障害者計画・第8期中央区障害福祉計画・第4期中央区障害児福祉計画策定に向けた実態調査について障害者(児)実態調査について (2) 障害福祉サービスと介護保険サービスについて (3) 障害者(児)サービス部会連携についてのQ&A

<p>第6回</p>	<p>令和8年1月14日 (水) 15時00分 ～17時00分</p>	<p>子ども家庭支援 センター4階 会議室</p>	<p>(1) 中央区障害者計画・第8期中央区障害福祉計画・第4期中央区障害児福祉計画策定に向けた実態調査について障害者（児）実態調査について (2) 障害者（児）サービス部会連携についてのQ&amp;A (3) 子ども発達支援センターについて</p>
------------	---	-----------------------------------	---

### Ⅲ 部会まとめ

#### 第4回部会

障害者福祉課から、中央区障害者計画・第8期中央区障害福祉計画・第4期中央区障害児福祉計画策定に向けた実態調査及び令和7年度障害者福祉課主要事業について説明がなされた。

（意見、質問等）

- ・ 移動支援の処遇改善は、近隣の各事業所から非常に受けやすくなったと歓喜の声が出ている。  
→ 障害福祉サービスを行っている事業者の説明会で、移動支援に関して課題を抱えているというご意見を伺った。新規の移動支援の報酬加算に対しての効果を実感していただいているようなので、非常に良かったと思う。
- ・ 障害者機械入浴サービス事業について、時間帯は決まっているのか。  
→ 毎週火曜日、木曜日の午前10時から午後3時までとなっている。

#### ○中央区相談支援事業所連絡会研修会について

- ・ 障害福祉サービスと介護保険サービスの違いを学ぶために実施した研修について説明

（意見、質問等）

- ・ 7月に開催される地域包括支援センター主催の研修はどのような内容なのか。  
→ 地域包括支援センターは毎月研修会を実施しているが、今回7月の研修会では、障害のある利用者の支援に関するケース検討を行うとのことで、お声掛けいただいた。経緯としては、今年2月の基幹相談支援センター主催の研修会で介護保険に関する事例検討から学んでいきたいという意見が挙げられたことから、地域包括支援センター職員を講師にお迎えし、介護支援専門員もお招きし実施したものである。障害分野に興味をお持ちの介護支援専門員が多く参加していたため交流しやすく、有意義な場となったと感じている。

## ○精神障害分野の事例報告について

- ・障害福祉から介護保険への移行時における事例を通じた課題について説明（意見、質問等）
- ・障害福祉サービスでは利用できていても、介護保険サービスでは利用できないサービスもあるため、移行について利用者に説明するのが非常に難しい。また、障害と認知機能の低下のラインの引き方が難しいため、障害福祉サービスから介護保険サービスの移行時期についても課題を感じている。  
→障害福祉サービスから介護保険サービスへの移行について、現在は利用者の状況を踏まえ柔軟に対応してもらっているが、他区では年齢到達とともに移行が必須という自治体もあるため、担当部署間における連絡に係るガイドラインができると支援がしやすいのではと考える。
- ・親と子の両者とも支援している世帯に対して、親子で介護保険を使えないのかとご家族から意見をいただいた。
- ・事業者としては、介護保険サービスを利用するメリットやデメリットについてより理解することが出来たら、利用者支援の充実につながると感じている。
- ・入浴サービスが移行時の一つの目安となる。入浴は高度な動きや動作が必須となるため、どの程度本人が身体を動かすことができるか判断しやすいからである。
- ・事例の中でデイサービスの利用を拒否されているとあるが、デイサービスには体験のようなものはないのか。  
→オリエンテーションや見学の段階での体験はできるが、いずれにしろ65歳になっていきなり障害から高齢者へと環境を変えるのはなかなか難しい。
- ・80代の障害者で介護保険サービスの利用は自己負担の支払いが厳しく、障害福祉サービスの利用を継続されている方がいる。しかし、年齢を重ねていく中で、介護保険サービスの利用が適切であると事業者が考えていても、本人から利用の同意を得られないケースがある。どのようにしたらうまく介入できるのか相談していきたい。
- ・障害福祉サービスから介護保険サービスへの移行について課題として挙げられる費用負担に対して、障害分野と介護分野の相談員の連携の仕方や、介入方法等についてより円滑な連携に繋げるための提案や回答等を部会でまとめて、自立支援協議会に報告していきたい。

## 第5回部会

障害者福祉課から、中央区障害者計画・第8期中央区障害福祉計画・第4期中央区障害児福祉計画策定に向けた実態調査の集計結果の速報について、説明がなされた。

（意見、質問等）

- ・調査項目によっては内容が難しく、何を聞かれているのかわからないところもあり回答が難しかったのではないかと。

→今回の反省を踏まえ次回は、質問内容を検討していく。

○障害福祉サービスと介護保険サービスについて

- ・再度おとしより相談センター職員をお招きし、前回の振り返りとして、「中央区相談支援事業所連絡会（研修会）」で行った、障害福祉サービスと介護保険サービスの違いについての内容及び精神障害分野の事例検討について意見交換を行った。

○障害福祉サービスと介護保険サービスの移行に関する連携について

- ・障害者（児）サービス部会で取り上げてきた介護保険サービスとの連携についてのQ&Aに関する意見、質問等を反映させ、新たに連携についてのQ&Aを作成し、次回提示することとした。

## 第6回部会

障害者福祉課から、中央区障害者計画・第8期中央区障害福祉計画・第4期中央区障害児福祉計画策定に向けた実態調査の集計結果全般について、自由記述内容を中心に説明がなされた。

○障害福祉サービスと介護保険サービスの連携についてのQ&A

- ・障害者福祉サービスと介護保険サービスの連携について部会で議論してきた意見、質問等を反映させ、新たにQ&Aとして作成したので、内容について説明を行う。  
(別紙参照)

○子ども発達支援センターについて

- ・本部会で障害児や発達に課題がある子どもについても検討課題として取り扱うこととしたため、地域における障害児支援の中核的役割を担う子ども発達支援センターに施設及び事業の概要についての説明を依頼した。

(意見、質問等)

- ・以前は福祉センターの幼児室として子どもの発達支援を行っていたが、新たにどのような事業が増えたのか。

→平成30年4月に子ども発達支援センターゆりのきが開設されたことで、独自事業として育ちのサポートシステムを積極的に推進し、早期把握・早期支援及び関係機関との連携が強化された。

- ・セルフプランで子どもの支援を行っているケースが多いが、セルフプランと相談支援専門員がついているケースの違いは何か。

→相談支援専門員がついていると定期的なモニタリングを行い状況の評価をすることで、支援内容の変更や修正を検討しやすいというメリットがある。セルフプラ

ンであると客観的な視点での評価ができず、適切な支援内容を確保するための保護者の負担が大きくなる。

- ・放課後等デイサービスでの重度の医療的ケア児への受け入れは検討しているか。  
→ゆりのきでは、重度の医療的ケア児は対象外としている。今後、安全面の確保を考慮し受け入れについては検討していきたい。同時に区における専門事業所の誘致や参入促進も必要であると考えている。
- ・保育園や幼稚園等から発達相談はあるか。  
→保育園や幼稚園、療育先からは園児の発達について様々な相談を受けている。特に保護者からの療育を受ける同意が得られず苦慮しているケースがある。一方で、保護者の不安の増大による支援の過多（複数の施設利用）も課題と感じている。
- ・保育士などの資格を所有していても金銭的な面や家庭的な問題から就労できていない人が数多くいるが、金銭的な支援はあるか。  
→人材確保・事業所確保における、報酬加算や家賃補助など支援策の充実については、今後の課題としていく。